


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立弘前聾学校	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input checked="" type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	粘土で作ろう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の説明を聞いて、陶芸の技法を知る。 ・ひも作りや玉作りの技法を用いて、好きな作品を作る。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 絵画や造形などの制作活動を好み、意欲的に取り組む生徒である。慣れた相手には積極的に関わることができるが、初めての相手には話しかけるのが難しく、分からないことがあっても尋ねることができないことがある。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad、大型提示装置、ロジャータッチスクリーンマイク、ロジャーマイリンク、iRig2、オーディオケーブル		
	使用したアプリケーションの名称	UDトーク	※使用したアプリケーション名を記入する。 アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (✓情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の説明を正確に知るために、音声認識アプリで文字に変換して表示する。 ・動画の説明を正確に知るために、動画に字幕をつける。 		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は文字が映し出された大型提示装置を見ながら、講師の説明を聞いて、理解を深めている様子であった。 ・正確な文字変換のために、講師から事前に説明に使われる言葉を聞き、単語登録したり、ロジャー補聴援助システムを使って音声入力したりした。また、誤変換を教師がその場で、訂正して提示した。 			